


ルーマニア			首都	ブカレスト
 <p>青、黄、赤の縦三色旗で、青は空、黄は鉱物・穀物、赤は祖先の血、独立闘争を表している。</p> <p>独立：1978 オスマントルコより 国連加盟：1955/12/14 政体：共和制</p>	<p>国の概要</p>	国土	面積 23万8,000 km ² (本州とほぼ同じ) 北西部のトランシルバニア台地、中央部のカルパチア山脈、南東部ドナウ川流域のポレーキア盆地に分けられる。東部は黒海に面している。	
		人口	2,170万人	
		言語	ルーマニア語(公用語)、ハンガリー語、ドイツ語	
		通貨	レイ	
		気候	温帯に属し、年較差の大きい大陸性であるが比較的温和である。降水量は年間を通してほぼ一定で、山地に多く平野部では少ない。南部の平野では地中海性気候の特徴もみられ、夏季に乾燥する。	
		民族	ルーマニア人 88%、ハンガリー人 8%、ドイツ人 2%	
		宗教	ルーマニア正教 87%、ローマカトリック 5%	
<p>教育制度の概要</p>	学校体系	・ ジェネラル・エデュケーションと呼ばれる小学校4年間、中学校4年間、高校4年、大学3年(医学部を除く)となっている。		
	義務教育	・ 義務教育はジェネラル・エデュケーションと呼ばれる8年間(7歳~16歳)であるが8年生を修了した時点で試験があり、進学できない場合は7~14歳でも可とする。 ・ 法的には2003年以降は義務教育期間を10年としている。 ・ 授業料は無料である。 ・ その年の学年が始まるまでに、満6歳になる者は、その年の9月15日に義務教育の第1学年に入学する。		
	日本と比較した教育課程上の特徴	・ 学校年度は9月15日~6月半ばごろである。(実際上は、何曜日に当たるかのよって若干の異動がある。) ・ 2学期制をとっており1学期は9月15日~12月20日、2学期は1月6日~6月半ばごろである。 ・ 小・中学校は校舎や教員の不足などから併設、2部制になっているところが多く、午前は小学校、午後は中学校が授業をする。小学校は8:00~13:00、中学校は13:10~19:00である。(一例) ・ 外国語の教育に重点が置かれ1年生から第1外国語(週2		

		<p>時間)、2年生からは第2外国語(週2時間)の学習が始まる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択される外国語では英語の人気は高く、次いでフランス語、ドイツ語という順になっている。 ・ 授業時間は週 22～29 時間で、語学以外の教科は、日本より時間数が少ない。学年の終わりには、盛大に表彰式が行われ、成績優秀者をはじめ、音楽や体育などで活躍した者も表彰される。 ・ 教授言語はルーマニア語で、1年生から選択教科があり、週1時間が割り当てられている。選択教科とは1年生では「英語の歌」などで、その後は各国の文化などについて学ぶことが多く、日本の「総合的な学習の時間」のような位置づけに近いと考えられる。 ・ 1年生から外国語が週2時間入り、2年生からは第2外国語が加わって、週4時間になる。社会科や理科の科目時間数は日本よりは少ない。8年生には6月に卒業試験がある。
	義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学卒業後の進路では高等学校への進学率が高い。そのほかに職業訓練校、実業校などがある。また、音楽や体育を専門にする高等学校もあり、学校の種類が多い。 ・ 大学進学を希望する生徒は、高校卒業の際にバカロレア試験(大学入学資格試験)に合格した上でさらに希望する大学の入学試験がある。 ・ 学校のほとんどは国立学校で、国の予算で運営されているため、授業料は無料である。近年、私立大学も増えてきている。
	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学前教育は義務ではない。3歳～6歳児が保育園や幼稚園に通う。費用やカリキュラムも多種多様で、英語や算数などを教えるところもある。最近では外国語の幼稚園もあり、人気が高いようである。
学 校 生 活	休業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みは6月15日～9月15日までの3ヵ月である。
	学級担任制、教科担任制等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校は学級担任制、中学校から教科担任制となる。
	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある。
	教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1教科に何冊もの教科書がある。

	給食	・給食はない。学校には簡単な購買所があるが、校内で食事をとることはない。
	チャイムや号令	・ある。
	校則	・特に厳しい校則はなく、学校の名に恥じない行動をとることとし、制服はある学校とない学校がある。
	保護者の授業参観、保護者会、PTA	・ある。
	子どもの一日	・午前中は学校で授業、午後は家で宿題をしたり、家庭教師について勉強をしたり、塾に行ったりする。
生活習慣等	宗教上の忌避事項	・特にない。
	食生活	・代表的な伝統料理は酸味の利いた野菜や肉のスープ「チョルバ」、キャベツを使ったロールキャベツ「サンマーレ」がある。主食はパンである。 ・地方では、自給自足を基本としており、生活ぶりは質素でほのぼのとしている。
	衣服住居の違い	・ブカレスト中心部は、古い8～10階建てのアパートがある。最近では前面ガラス張りなどの現代風のアパートやビルが建つようになった。
	交通規則の違い	・ブカレスト市内は「トランバイ」と呼ばれる路面電車と地下鉄、バスが走っている。
	その他	・日本については、経済大国、自然が美しい、伝統文化があるなどの印象をもち、日本人は、勤勉で誇り高く、感受性が強いというイメージをもっている。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の教育情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・ブカレスト日本人学校（月刊誌「海外子女教育」）・・・・・・・・海外子女教育財団
- ・ブカレスト日本人学校での三年間を振り返って・・・・・・・・ブカレスト日本人学校 樋口 猛
- ・世界の郷土料理・・・・・・・・・・・・・・・・KDDI